



モエワ★カムイ

NO.

66

●モエワ・カムイとはアイヌ語で「エゾノカササギ」のことです。

OCT 2003

あさひやまどうぶつえんニュース
ASAHIYAMA ZOO NEWS

もくじ

シリーズ

「ぼくは動物大使」

その27 極寒に生きる③

シロフクロウ

2・3

旭川周辺で見られる

野生動物見どころMAP

4・5

飼育研究レポート

6

動物園事情

VETニュース

7

できごと
飼育動物数
編集後記

8

シロフクロウ
Nyctea scandiaca

ほくは、
動物大使
 その27 極寒に生きる③シロフクロウ

シロフクロウ

Nyctea scandiaca

ユーラシア、北アメリカの北極圏、ツンドラ地帯で繁殖する。冬は多くの個体が繁殖地に残るが、餌となるレミングが少ない年は南へ渡り、北海道へも渡ってくる。84'年には大雪山系トムラウシ山周辺で、夏に観察された記録がある。

産卵数は、通常10個前後だが、レミングが少ない年は0~5個と産卵数を調節する。

映画「ハリーポッター」で一躍有名になったシロフクロウは、厳しい寒さと闘う、北極圏最大の猛禽なのです。

旭山のシロフクロウ



オス
 94'6.10
 旭山生まれ
 威勢はいいが
 ちょっと臆病。



メス
 94'7.3
 95'3月に多摩動物公園より入園。
 きかん坊です。

耳

音源をつきとめやすいように、耳の穴が上下にずれている。



目

顔の正面につき、物を立体視できる。明るさを感じる「視細胞」が多く、その感度は人の100倍。夜でもパッチリ見える。



口

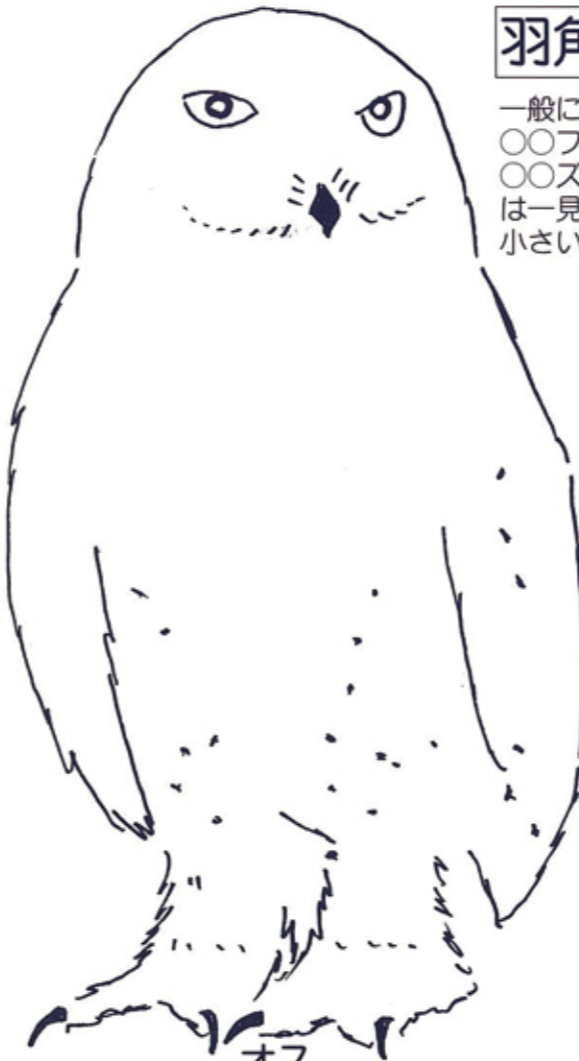
小さく見えるが、実はネズミを丸のみできちゃうくらい大きい。

羽

風切羽に短く柔らかい綿羽が生えているので、音を立てずに飛べる。



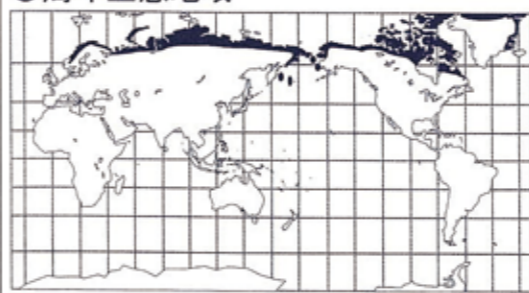
メス



オス

シロフクロウの分布

●周年生息地域



羽角

一般に耳の飾り羽(羽角)がないのを〇〇フクロウ、羽角があるのを〇〇ズクという。でもシロフクロウは一見丸顔に見えるが、よく見ると小さい羽角がある。

首

横目ができないので視野はせまいけど、それを270度も回転する柔らかい首の動きでカバーする。

体

メスのほうが少し大きい。オスはほぼ純白で、メスは黒い斑点がある。フクロウ類ではめずらしくオス、メスが見分けやすい。

活動

シロフクロウは、昼も活動する。

つぐみ王国「北海道」、つぐみ宝庫「旭山」

フクロウは、南極を除くほぼ全世界に分布し、約130種います。日本には12種、うち北海道では10種確認されています。

当園では北海道で見られる10種中、シマフクロウ以外の9種を飼育・展示しています。国内に動物園、数あれど、これだけ種数が揃っているところは、なかなかないですよ！

当園自慢のラインナップです。



(夏) - 夏に渡ってくる。
 (冬) - 冬に渡ってくる。
 (留) - 通年その場に留まる。

◎現在展示していません。

旭山動物園での繁殖記録

当園でシロフクロウは90'年に3羽、91'年に1羽、92'年に2羽、94'年に1羽繁殖しています。

繁殖期になると、飼育係が掃除に入れないほど、気性が荒くなります。巣は地上に作り、メスが抱卵し、33日ほどでふ化します。ヒナの成長は早く、ふ化後12日で歩き25日で巣を離れ、2ヶ月ほどで親と同じ大きさになります。

現在のペアは、毎年巣作りまではするのですが、残念ながら産卵には至っていません。

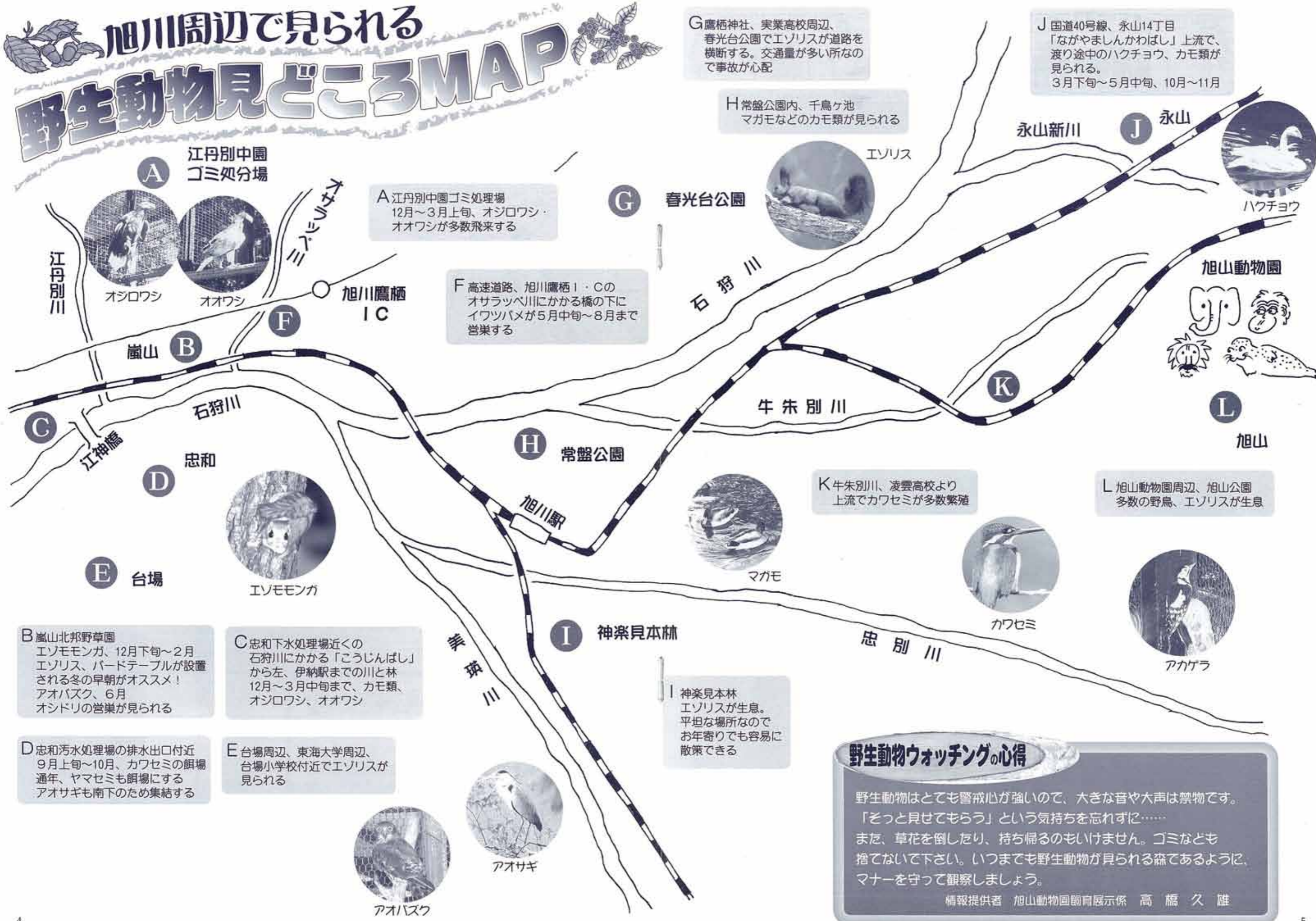
野生のつぐみ

日本で繁殖するフクロウは8種います。うち北海道のみで繁殖するのは、シマフクロウ・ワシミズク・キンメフクロウの3種です。

ワシミズクとキンメフクロウの繁殖が確認されたのは、今からわずか十数年前のことで、それまでワシミズクは迷鳥、キンメフクロウは冬鳥とされていました。これを聞くと「そうか、北海道にはフクロウが繁殖できる自然がまだ残っているんだ」と言えるでしょう。しかし、喜んではいられません。以前より、その森で生活していた彼らが、なぜ今頃発見されたか？それは、私たち人間がたくさんの木を切り倒し、彼らの生息域に足を踏み入れてしまったため、容易に人目についてしまった、とも言えるのです。

フクロウを漢字で書くと「梟」。これ以上、彼らのすむ森が減少しないことを願うばかりです。いつまでも「木」の上の「鳥」でいられるように……。

旭川周辺で見られる 野生動物見どころMAP



A 江丹別中園
ゴミ処分場



A 江丹別中園ゴミ処理場
12月～3月上旬、オシロワシ・
オオワシが多数飛来する

G 春光台公園



H 常盤公園内、千鳥ヶ池
マガモなどのカモ類が見られる

J 国道40号線、永山14丁目
「ながやましんかわばし」上流で、
渡り途中のハクチョウ、カモ類が
見られる。
3月下旬～5月中旬、10月～11月



F 高速道路、旭川鷹栖1・Cの
オサラッベ川にかかる橋の下に
イフツバメが5月中旬～8月まで
営巣する



L 旭山

L 旭山動物園周辺、旭山公園
多数の野鳥、エゾリスが生息

K 牛朱別川、凌雲高校より
上流でカワセミが多数繁殖



I 神楽見本林

I 神楽見本林
エゾリスが生息。
平坦な場所なので
お年寄りでも容易に
散策できる

B 嵐山

B 嵐山北邦野草園
エゾモモンガ、12月下旬～2月
エゾリス、バードテーブルが設置
される冬の早朝がオススメ！
アオバスク、6月
オシドリが営巣が見られる

C 忠和下水処理場近くの
石狩川にかかる「こうじんばし」
から左、伊納駅までの川と林
12月～3月中旬まで、カモ類、
オシロワシ、オオワシ

D 忠和

D 忠和汚水処理場の排水出口付近
9月上旬～10月、カワセミの餌場
通年、ヤマセミも餌場にする
アオサギも南下のため集結する

E 台場周辺、東海大学周辺、
台場小学校付近でエゾリスが
見られる

E 台場



野生動物ウォッチングの心得

野生動物はとても警戒心が強いので、大きな音や大声は禁物です。
「そっと見せてもらう」という気持ちを忘れずに……
また、草花を倒したり、持ち帰るのもいけません。ゴミなども
捨てないで下さい。いつまでも野生動物が見られる森であるように、
マナーを守って観察しましょう。

情報提供者 旭山動物園飼育展示係 高橋久雄



飼育研究レポート

ジャックとリアンの物語—第1章—

旭山動物園では、現在3頭のオランウータンを飼育しています。オスのジャック(22才)とメスのリアン(11才)、そしてメスのモモ(0才)です。今回は、モモの誕生に至るまでのお話です。

当園での飼育開始当初は、セントロウというオスがいましたが、病気で亡くなってしまい、セントロウのお嫁さんとして途中から台湾より来園したリアンが残されました。私は、その頃にオランウータンの担当になったのです。

月日がたち、リアンも大人として成長してきたので、そろそろ新しいお嫁さんを探すことになりました。候補としてあがっていたうちの1頭に、ジャックがいました。その頃ジャックは、広島のお佐動物公園にいましたが、ジャックも相棒を亡くしており、一人身だったのです。そうしてジャックが旭山動物園へ帰入ることが決定しました。

ジャックは、2002年4月23日に来園してきました。ジャックを見たとき、私は「!!」と驚いてしまいました。なにせ、大人のオスのオランウータンを近くで見たのは初めてだったのです。あの顔と、あの体格、「リアンと仲良くしてくれるのかな?」と心配してしまいました。とりあえず、ジャックが初めて見る寝室で、落ち着くまで待ちました。ところが、元々のオランウータン舎の主であるリアンが、聞き慣れないジャックの声と、臭いにストレスを感じた様子です。でも数日後には落ちついたので、積極的に会い合いをさせました。するとジャックは、かわいいリアンを見てすぐにラブコールを送りました。一方のリアンはというと、「誰なの!?!」といった具合で、好感は得られない様子でした。

そして5月21日、思いきって2頭を放飼場に出しました。最初は「ジャックが追いかけ、リアンが逃げる」を繰り返していましたが、最終的にはリアンの方からジャックに近づいてゆき、2頭が寄り添う姿を見ることができました。あとはジャックとリアンの仔の誕生を願うばかりなのですが……。

つづく

同居



リアン(11才)

汚れなき乙女



微妙な距離を



たもちつつ…



ジャック(22才)

堂々たる体格!



ついに仲良くないました



動物園事情



環境エンリッチメントと繁殖行動

動物園で飼育している野生動物の中には、なかなか繁殖してくれない動物がいる。動物園の飼育担当者としては、動物の習性や生息環境などを研究し、野生動物の繁殖に向けて真剣に取り組んでいる。旭山動物園でも、オオカミの出産用巣箱を開発したり、タヌキを冬期間減量させて繁殖に成功させたりと、さまざまな研究の成果を挙げてきている。

しかしながら、群れ形態を整えたり生息環境を再現するなどしても、繁殖に直結するとは限らない。なぜなら、繁殖行動の発現には、かなり精神的な要素が必要とされていると思われるからだ。十分な広さを用意し、生息地の環境をそのまま切り取ってきたかのような飼育環境を作り出し、食べ物も現地のもを用意したとしても、繁殖行動を起こさない動物がいることも確かだ。

何が不足なのか、健康であれば繁殖するはずだ。繁殖しないのはどこが悪いのではないかと健康診断を繰り返す傾向にあった。そこには、動物の心に対する配慮が欠けていたのではないかと。同じ方法で飼育していても、繁殖する個体と繁殖しない個体がいるということは、やはり繁殖には、精神的な要素が大きく関わっていることだろう。

旭山動物園では、動物たちに「しあわせ」を感じて生活して貰おうと様々な環境エンリッチメントを実施してきた。例えば、サイやゾウには泥浴び場と体をこすりつける木を用意し、キリンには高いところに餌を釣った。鳥は3000㎡の広さに高さ14mのネットを張り、自由に飛べるようにした。さる山のサルたちは、草を摘んで食べ、チップの中のピーナッツを探して時を忘れ、オランウータンは、高さ17mの空中散歩を楽しんでいる。多くの観察者が「動物たちが楽しそう」と感想を述べている。私も同感だ。実際に動物たちは楽しみにしていない。

人間から見れば、オランウータンの行動は解せないらしい。「あんな大変な思いをして、あれっぽっちしか餌が当たらないの」と聞かれる。「私なら絶対に行かない」とも。彼らは、行った先にベレットが3個あって、それを求めて渡っていく。その達成感がたまらないのだろう。対価の大小ではないのだ。表情が実に良い。ニコッと笑っている。つまり、目的があって、達成することが幸福感につながるのだと思う。何もすることのない自分を想像すればすぐに解ることだ。やることのないほど辛いことはない。

旭山動物園では、環境エンリッチメントに取り組み、繁殖成績を上げることができた。ヒドリガモは特に珍しい鳥でなく飼育している動物園も多い。また旭山動物園でも長く飼育していた。とどりの村で自由に飛ばせたところ、移動2年目からは自然繁殖している。オランウータンは、フリーディングローンでオスがやってきて1年目で繁殖し、母親が自然哺育をし、お腹に赤ちゃんをしがみつかせたまま、空中散歩を楽しんでいる。これらは、環境エンリッチメントが繁殖行動の発現にも好影響を与えたものと考えている。繁殖してくれない動物の心に着目すれば、子を作ろうとする気にさせる方法が発見できるかもしれない。



動物病院VETニュース—カリスマ獣医師への道—



動物園の動物にもガンが多い!

今回は、動物園の動物たちの「ガン」についてのお話です。

動物園の動物は、家庭で飼育されているイヌやネコと同じように毎日安全で快適な飼育環境と栄養バランスのとれた食餌を与えられているので、長生きします。それに対して、野生動物は過酷な自然環境の中で生活しているため、捕食や事故などによって寿命を最大に全うすることなく若いうちに死亡する個体がほとんどでしょう。例えば、野生のキツネやタヌキならば3-5歳くらいの個体は生き延びている方だと思いますが、動物園で飼育すれば10歳近くまで生きる個体も少なくありません。同じ動物でこれだけ寿命の長さが違っていると、死亡原因には「老い」という問題が影響してきます。ヒトと同じように、動物も老いて行くにしたがって「ガン」や「心筋梗塞」、「腎臓病」のような病気が増えてきます。高齢動物の死亡原因として目立って多いのが「ガン」です。

この4年間に、エゾリスの眼瞼にできた悪性黒色腫、ホッキョクグマの肝臓癌2例、ウンビョウとアムールヒョウの子宮筋腫、ヤマアラシの乳腺癌、フェレットの膵臓腫瘍と悪性リンパ腫、エゾクロテンの骨髄性白血病などの腫瘍症例がありました。肺などの臓器に転移したり、貧血を起こしたりして死亡する動物もいました。

次に、ハリネズミの腫瘍についてお話します。1999年から4頭のハリネズミを飼育してきましたが、現在までに3頭に腫瘍が発生しました。1頭目は、後ろ足にしこりができ、手術で取り除きました。しかし、その5カ月後にのどの部分にしこりができて、手術中に安楽死しました。病理解剖では肺などに転移が見られ、しこりの病理組織検査の結果、甲状腺ガンでした。2頭目は、乳ガンができて手術しました。悪性でしたが、このガンの転移や再発はありませんでした。しかし、3カ月後に子宮のポリープのため開腹手術をしました。これら2度の腫瘍は手術で治っています。しかし、1年半後に胸にしこりができたため、断脚することは選ばずに安楽死しました。平滑筋肉腫という悪性腫瘍でした。3頭目は、子宮のポリープと乳ガンができ、それぞれの手術をしました。このハリネズミは、手術後1年間、転移や再発はありませんでした。このように、ハリネズミのような小さな動物でも腫瘍の種類によっては、早期発見と正確な診断ができ、手術によって克服できるのです。

ガンと聞いただけで「こわい」と思われる方もいらっしゃるでしょう。家族や飼育動物をガンで亡くしたり、ガンと闘病中の方やガンを克服された方もおられることでしょう。私は母をガンのため48歳の若さで亡くしました。また、大学では専門的な小動物のガン治療に携わっていたので、ガンに対する思い入れは大きいです。ですから、動物園の動物に発生したガン患者に対しても思いをこめて向き合っています。医学や獣医学の進歩に伴い、ガンという病気は必ずしも不治の病ではなくなってきています。しかし、動物園動物のガン治療では、化学療法や放射線療法が困難な症例が多く、大型動物では外科療法は限られたものになってきますので、治療には限界がつかまといえます。何と言っても抗がん剤を点滴するにも全身麻酔をかけなければならない患者さんがほとんどですから…。また、設備的にも動物園にはガンを診断するためのCT、MRI装置や放射線治療装置はありません。予後が厳しい動物は安楽死することも多々ありますが、動物園の健康管理を任されている以上、治る可能性があるかと判断した動物は最大限治療しております。これからもできるだけ多くの命を救えるように努力し続けて行きます。

主なできごと

- 4月26日 夏期開園
- 5月18日 野鳥観察会
- 6月12・13日
平成15年度日本動物園水族館協会
北海道ブロック 春季飼育技術者研究会
「マルミミゾウのエンリッチメント
の試み」高橋久雄
- 6月24日 ジェンツーペンギン孵化
- 6月27日 ハクガン孵化
- 7月19日 モモイロペリカン1ペア購入
- 7月20日 フクロウ観察会
- 8月2日 イワトビペンギン 動物交換で入園
(有竹鳥獣店)

- 8月4～6日
サマースクール
- 8月7日 カビバラ誕生
- 8月13～17日
夜の動物園
- 8月13日 キングペンギン孵化
- 9月6日～夏期閉園
移入動物の現状展
- 9月12日 イワトビペンギン借り受け
(豊橋総合動植物公園)
- 9月11・12日
第54回北海道獣医師大会並びに
北海道地区3学会
「一動物園5年間の傷病野生動物保護
及び個体有効活用の検討」福井大祐
北海道獣医師会長賞受賞!
- 9月27・28日
日本動物園水族館教育研究会
旭川大会
- 10月5日 チリフラミンゴ 動物交換で入園
(宮崎市フェニックス自然動物園)



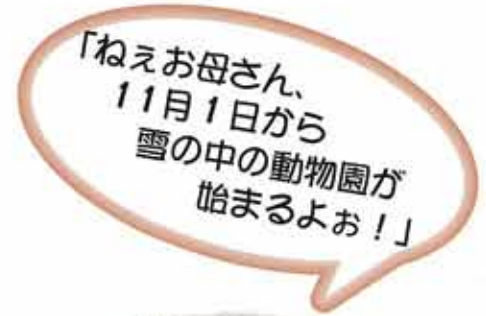
飼育動物数

(平成15年9月末現在)

ほ乳類	49種	207点
鳥類	89種	499点
爬虫類	12種	33点
合計	150種	739点

編集後記

今年は動物舎の新築がなく入園者がどうなるのかちょっと心配でした。ところが7月8月と記録的な入園者数となりました。こちらが戸惑うほどでした。また行こうね!と感じてくれた人がどのくらいいるのでしょうか? 「流行もの」にならないように頑張らないといけませんね。



モユク・カムイ No.65 平成15年10月31日

発行所 旭川市旭山動物園 〒078-8205 旭川市東旭川町倉沼 ☎0166-36-1104
 発行 小 菅 正 夫 <http://www.arc-net.co.jp/shoukou/zoo/>
 編集委員 中 田 真 一 ・ 坂 東 元
 印刷 谷川印刷株式会社 〒070-0831 旭川市旭町1条4丁目 ☎0166-51-0653